

紹介します！

私の

宝本

我が家の

宝本って？・・・家族共通の思い出の一冊や、自分の成長に影響を与えた一冊など、自分や家族にとってかけがえのない一冊になった本のことです。



今回は平成29年度に応募いただいた宝本エピソードの中から
数点をご紹介します。



書名 くまのこうちようせんせい
著者名 こんの ひとみ/作
いもと ようこ/絵
出版社名 金の星社

【エピソード】



この本は、私が小さいころに母に読んでもらっていた本です。この本を読んでもらっていたおかげで、人を思いやることができるようになりました。今では、私が妹へ夜に読んであげています。妹に読んであげると、いつも「ひつじくんってすごいね」といいます。読んであげると、妹がとてもうれしそうなるので私もうれしくなります。だから、この本は私にとっての宝本です。

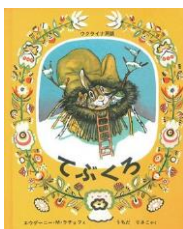


書名 チア☆ダン
女子高生がチアダンスで全米制覇しちゃったホントの話
著者名 円山 夢久/作
出版社名 角川文庫

【エピソード】



夢をかなえるために、いっぱい努力して、でも「努力してもダメなことってあると思う。でも、努力し続けるしかないんだよ。」という言葉が心に残っています。きつい時や大変な時などに読んで、私も頑張ろうとなるからです。そして「夢の実現は素晴らしい。でも本当に素晴らしいのはここに向かって頑張ったという事実」という言葉が心に残りました。



書名 てぶくろ
著者名 うちだ りさこ/訳
エウゲ・ニコ・M・ラチョフ/絵
出版社名 福音館書店

【エピソード】



ぼくがまだ小さいころに、お母さんがよく読んでくれました。お母さんが、その動物の声まねをしてぼくがものすごく笑っていた本です。

その本は、お母さんが小さいころその本を、今のおばあちゃんが読んでいた宝本でしたので、僕もその本を宝本にしています。





書名 100かいだてのいえ
著者名 いわい としお/作
出版社名 偕成社

【エピソード】



この本は、わたしが保育園のころにお母さんに買ってもらった本です。そして、お母さんに読み聞かせしてもらったり、自分で読んだりしたものです。今でも、大切にずっと持っています。この本はわたしに、絵本の楽しさを、すごく、感じさせてくれました。わたしが大人になるまでも大切にしてお母さんになった時、子どもに読んであげたい本になりました。

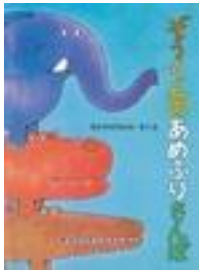


書名 100かいだてのいえ
著者名 いわい としお/作
出版社名 偕成社

【エピソード】



この本は、私が小さいころにちか 100 かいだてのいえといっしょに買ってもらった本です。むかしのころから家族みんなが、とても大切にしています。お兄ちゃんも私も妹もみんな、この本が好きでよくよんでいます。私はこの本をずっと大切にしようと思っています。



書名 ぞうくんのあめふりさんぽ
著者名 なかの ひろたか/作
出版社名 福音館書店

【エピソード】



この本は、わたしが小さい時に、親子教室の先生が動物を手作りして、絵本といっしょに読んでくれた本です。お母さんが、動物の声になりきってよく読んでくれました。

この本を読むと、読んでくれたときのお母さんの声を思い出します。



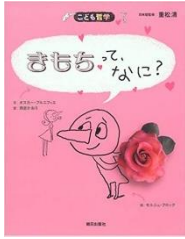
書名 くんくんくん
著者名 上野 与志/作
末崎 茂樹/絵
出版社名 ひさかたチャイルド

【エピソード】



3~4 歳の時に、おかあさんが、歌いながら読んでくれました。わたしと妹の、おきにいりの本です。





書名 きもちってなに？
著者名 オスカー・ブルニフィエ/作
セルジュ・ブロック/絵
出版社名 朝日出版社

【エピソード】



この本は私にとって、色々な考え方、そして、友達や家族と真面目に語り合えた、とても特別な本、自分のいつも気にかけていることや、勇気が出ない時、元気がない時、悲しい時に、いつも私の心の支えになってくれた、一生の宝物の一冊です。

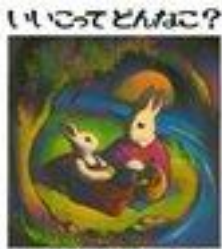


書名 妖怪アパートの幽雅な日常
著者名 香月 日輪/作
出版社名 講談社

【エピソード】



この本は、僕が本を好きになるきっかけになった本です。中学1年のとき、何かおもしろい本はないかと探していたら、たまたま目に入って、これ小学校の図書室にもあったな、と思いながらなんとなく借りて読んでみたら、とてもおもしろくて、それまではあまり本を読まなかったけど、この本を読んでから本が好きになって、本を人より多く読むようになりました。とてもおもしろく、僕が本を好きになるきっかけにもなったので、この本は僕の一生涯の宝本です。



書名 いいこってどんなこ？
著者名 ジーン・モデシット/作
ロビン・スポート/絵
出版社名 富山房

【エピソード】



この本は、保育園の卒園式で園長先生が読んでくれた本です。すぐにお母さんと図書館へ行って、この本をさがしました。お母さんはこの本を読んで、涙が出たそうです。そしてぼくも「いいこってどんなこ」とたずねました。お母さんもバニーのお母さんのように、「あなたはあなたらしくしてくれるのが一番だよ。」と言ってくれました。

この本を読むと、とてもうれしい気持ちになれます。とても大切な宝本です。



書名 ハムスターのハモ
著者名 たかお ゆうこ/作
出版社名 福音館書店

【エピソード】



この本は、私が幼稚園に通っていたころ、初めて自分で選んで買ってもらった本です。たぶん、表紙のかわいいハムスターの絵が気に入って買ってもらったのだと思います。まだ、私が字を読めなかったときに、お母さんに読んでもらって、字が読めるようになってからは私が妹に読んであげて、と家族みんなで読んだ本です。この本は家族で一緒によんだ思い出のある宝本です。



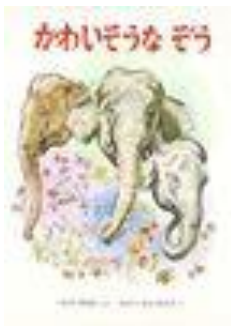
書名 君の臍臓をたべたい
著者名 住野 よる/作
出版社名 双葉社

【エピソード】



この本は本屋さんで、おもしろそうだと思って買ったのがきっかけです。読んだ後は、いろいろなことを考えさせられる内容で、とても感動しました。また、日々を大切に生きていこうと前向きな気持ちにもなりました。何回も読むたびに、いろいろな感情がわき上がってきます。

この本は、何回読んでも感動をよぶ私の宝本です。



書名 かわいそうなぞう
著者名 土屋 由岐雄/作
武部 本一郎/絵
出版社名 金の星社

【エピソード】



教科書にのっていて、読んでみたら、今では考えられないような、かわいそうな世界が広がっていました。戦争で食料もあまりない時に、人間でも言えることをゾウで示していました。「本」というものは、毎回ページを開くたびに、ちがう世界につれていってくれます。

しかしこの本は、タイトルを聞いた「しゅんかん」に、寒気がしました。いざ読んでみると、「ゾウはゾウであること」など、自分たちにも言える、「人は人であり、自分をもつこと」など、改めて感じることができました。「その時の人たちの事も考えて、生きていかねば。」と思いました。今僕は、一つしか無い人生を、大切に生きています。



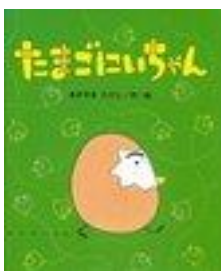
書名 しろくまのパンツ
著者名 ツペラ・ツペラ/作
出版社名 ブロンズ新社

【エピソード】



私が初めて読み聞かせをした本でもあるし、妹が最初に読めるようになった本でもあります。

妹が買ってきて、「お姉ちゃん、これ読んで。」と言われ、初めて妹に読み聞かせをしたことで、妹は字が読めるようになりました。そして私も初めて読み聞かせをした、私と妹の思い出の本です。



書名 たまごにいちゃん
著者名 あきやま ただし/作
出版社名 鈴木出版

【エピソード】



この本は僕にとって思い出に残る本です。子どものころに母に読んでもらい、寝たり、楽しんだりしてきた、僕の成長に影響を与えた本です。

この本は今でも好きな本なので、ときどき読んだりします。なつかしくなるような気持ちになります。このようなエピソードがこの本にはあります。



書名 うみの100かいだてのいえ
 著者名 いわい としお/作
 出版社名 偕成社

【エピソード】



この本は、わたしが小学生になってからはじめて自分のおこずかいで買った本です。

わたしにとってこの本は、ずっと大事にしたい本であり、妹にもしょうかいし、すきになってもらいたいです。



書名 うちのさんしまい
 著者名 松本 ぶりっつ/作
 出版社名 主婦の友社

【エピソード】



お母さんやお父さんも、うちの3しまいを読んだら、「くすくす」わらっていたので、みんなにも読んでほしいです。しゅるいも多くておもしろい本です。



書名 のぞいてごらんいろ
 著者名 わだ ことみ/作
 出版社名 岩崎書店



書名 ノントン いないいな〜い
 著者名 キヨノ サチコ/作
 冬野 いちこ/絵
 出版社名 偕成社

【エピソード】



この2冊は、小さい時に買ってもらった本です。何度も読んでもらい、「のぞいてごらん いろ」の本は、やぶけていたりもしますが、テープをはり、修理して、今は妹が何度も読んだり、読んでもらったりしてお気に入り！僕から妹へうけつがれる本です。



書名 ナミヤ雑貨店の奇蹟
 著者名 東野 圭吾/作
 出版社名 角川書店

【エピソード】



私にとってこの本は、人と人とのつながりの大切さを再確認できる本だと思います。

奇蹟を信じるんじゃなくて、奇蹟は自分の手で手繰り寄せるもの、自分の行動が奇蹟につながっていくんだ、奇蹟は起こせるかどうかは自分次第なんだよ、と教えてくれたのがこの本です。

この本を読んだ後は泣きました。私は人を信じること、奇蹟のことなどを、この本から教えていただき、この本が私の宝本です。



書名 うさぎのくれたバレエシューズ
 著者名 安房 直子/作
 南塚 直子/絵
 出版社名 小峰書店

【エピソード】



20才になる親せきのお姉さんからもらった絵本なのですが、小さい時から絵本を読んでと持ってくるのは、この本でした。

1回読み終わると、もう一回読んでと言って、何度も何度も読み聞かせました。中にちょうちょの絵が書いてあるのですが、ママは何色のちょうちょが好き？と聞いてきて、青や紫・緑・黄・黄緑・オレンジの色の中から、いつも選んでいました。女の子のまねをして、バレエをして見せてくれたりしました。女の子らしいやさしい色の絵本が、まだ娘は、今でも大好きです。



書名 はらぺこあおむし
 著者名 エリック・カール/作
 出版社名 偕成社

【エピソード】



この本は、私が小さいときからある本です。母が好きな本だったため、私達に買ってくれました。読み聞かせをしてくれて、とてもおもしろかったのを覚えています。最初は、まだ本の意味が分かりませんでした。成長するにつれて分かってきました。私が一番好きな場面は、最後にさなぎになって、きれいなちょうちょになるところです。今では、私が妹や弟に読んであげています。なので、母にとっても私にとっても妹や弟にとっても、大切な思い出のつまった宝本です。これからもずっと大事にしていきたいです。



書名 君と会えたから
 著者名 喜多川 泰/作
 出版社名 ディスカヴァー・トゥエンティワン

【エピソード】



将来自分がやりたいことは何なのか、生きるとはどういうことなのか、と思ったときに、この本のまえがきにひかれ読み始めました。

小説なので最初はあまり読む気がしなかったのですが、ページをめくるたびに「人生」における、さまざまな発見や学びをすることができ、読み終わったころには、「この本に出会えてよかった。」というような気持ちになることができました。いままでの考え方を180°変えてくれるような本なので、将来や生きることについて考えている人に、ぜひ読んでほしい一冊です。



書名 4年霊組こわいもの係
 著者名 床丸 迷人/作
 浜弓場 双/絵
 出版社名 角川書店

【エピソード】



私にとって、とても勇気をもらえる本です。また、自分のお金で初めて買った本でした。

今では、5年霊組シリーズもふくめて、12さつもっていて、とても大好きな本です。





書名 ワンダー
著者名 R・J・パラシオ/作
中井 はるの/絵
出版社名 ほるぷ出版

【エピソード】



人のことを考えるきっかけにもなった本。自分だけでなく人を大切にしようと教えてくれた。今まで私はまわりを気にしたりしながら生活してきた。でもこの本を読んで、主人公の強い心ややさしい心に教えてもらった。まわりを気にせずに、自分の気持ちで行動すること。ときには、いじわるだった人にもやさしくすることを。

この本は私にとって、なくてはならないそんざいだ。



書名 ぼくらの七日間戦争
著者名 宗田 理/作
出版社名 ポプラ社

【エピソード】



ぼくがこの本を手にしたきっかけは、本の帯に、「小学生に1番人気」と書いてあったからです。しかし最初は、こんな分厚い本読めるかなあ、と思い、最初の1ページを読むと、先が気になり、ついには読みほしてしまいました。

この本を読んでから、ぼくは、こんな分厚い本でも読めると自信がつき、今までは、読めなかった分厚い本もよく読むようになりました。ぼくが、「ぼくらの七日間戦争」に出会っていなかったら、今も本を読んでいないと思います。本当にこの本に出会えてよかったです。



書名 にじいろのはな
著者名 マイケル・グレイ=エツ/作
出版社名 ポプラ社

【エピソード】



小さいころ、入いんしていたときに、プレイルームで、この本をよく読んでもらっていました。お母さんは、ぼくが大きくなったら、にじいろのはなのように、みんなのやくに立てるようになってほしいなあ、と話していました。

ぼくにとってこの本は、明るく、元気づける本だと思います。



書名 100万回生きたねこ
著者名 佐野 洋子/作
出版社名 講談社

【エピソード】



私は、年中のとき出水にきてなにもわからず、毎日びくびくしていました。

そのとき、ようち園の先生が、この本をよんでくれました。そのときなぜか、心にストーンとのるようなかんじでした。この本をよんでもらって、心に灯がついたかんじがしました。





書名 ちいさなくれよん
 著者名 篠塚 かをり/作
 安井 淡/絵
 出版社名 金の星社

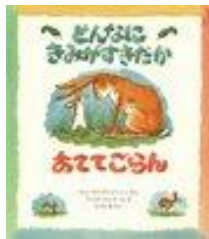
【エピソード】



私は、この本に出会ったのが、小学 1 年生位のと
 きで、新しいおばさんにもらってから、この本は私にと
 って一番好きな本になりました。

私は、この本を読んで、学んだことは、私は無だ買
 いが多くて、まだ、家にたくさんえんぴつや消しゴム
 は残ってるのに、すぐに「なくなったから」と言っ
 て買ってしまっていました。

でも今では、短くなったえんぴつ、小さくなった消
 しゴムは、家用として活用しています。この本を読
 んで改めて、物の気持ちを考えました。なのでこの
 本は、絶対に手ばなすことができない大切な本で、
 私に物の大切さを教えてくれた本です。



書名 どんなにきみがすきだか
 あててごらん
 著者名 サム・マクブラットニィ/作
 アニタ・ジェラーム/絵
 出版社名 評論社

【エピソード】



この本をもらって、家族で読んでみんなで、「とても
 感動してよい本だね。」と感想をつたえあうことが
 できました。



書名 かたあしだちょうのエルフ
 著者名 おのき がく/作
 出版社名 ポプラ社

【エピソード】



エルフの心の強さに、ぼくもこうなりたいと思っ
 て何回も読みました。この本はお父さんがぼくに買
 ってくれた本です。お父さんも子どものころ、ぼく
 と同じように、エルフのようになりたいと思って
 読んでいたそうです。

ぼくもおとなになったら、子どもに読んであげ
 たいと思いました。

だるまさんが



書名 だるまさんが
 著者名 かがい ひろし/作
 出版社名 ブロンズ新社

【エピソード】



私の出産祝いに親友からもらいました。
 当時の育児日記を読みかえすと、「一緒に揺れてカ
 ワイ」、「どてっで大笑い(^。^)」など書かれて
 います。

1 歳になりたてのある日、「だるまさんの」を
 読みきかせをしていたら、「だるまさんのて」の
 所で、自分が知っている、この手のことだ！！と
 分かったようで、自分の手を見て、「て！」「て！」
 と大喜び。

赤ちゃんが言葉を理解した瞬間に立ち合えたの
 は、感動的でした。

息子とは沢山の絵本を読んできましたが、この
 だるまさんシリーズは、私にとって特別な絵本
 になりました。(ちなみに 5 歳になった今は、虫
 の図鑑と『おしりたんてい』に夢中です。)



書名 じゃがいもポテトくん
著者名 長谷川 義史/作
出版社名 小学館

【エピソード】



まだ言葉がはっきりしない頃、「にくじゃがー、じゃがばたー、おでんのじゃがじゃが・・・。」と不思議な歌を何度も歌うので、父、母、姉も一緒になり、この歌を調べました。

本人が「絵本だ。」と教えてくれたので、やっとこの絵本にたどりつき、購入し、代わる代わる父・母・姉・・・と、弟へ読んであげたことを覚えています。振り返ると、この頃には家族の（就寝前の）読書タイムが確立していたんだなあ、と思います。

